



PRESENTED BY
コードブルー

私達は臨床で本当に必要な
救命処置トレーニングの普及を目指します

二次救命処置普及プロジェクト コードブルー

院内での蘇生といえば二次救命処置ですが、日本では定期的なトレーニングの義務もないことから個人の裁量に任されており普及しているとは言い難い現状にあります。

指導者側も課題を抱えており、市民向けBLSと看護師に必要な内容を混同し「人工呼吸の重要性は低い」といった誤った指導や、消防職員に講師を依頼した結果、院内急変が全く想定されていないトレーニングとなってしまう状況も少なくありません。

そこで、臨床で本当に必要な救命処置トレーニングを普及させることを目的に看護師に必要な新しいBLSコースを開発しました。BLSと銘打っていますが二次救命処置や気管挿管の介助なども含んだ臨床看護師に必要な内容です。

NCLS

看護師に必要な新しいBLSコースの特徴

↑クリックするとHPに飛びます



評価・判断力が身につく

従来のBLSでは重視されていない評価・判断にフォーカスを当てているのが特徴です



BLSから二次救命処置まで

二次救命処置のアルゴリズムや挿管の介助、除細動器など急変対応の土台となるスキルまでカバーします

MORE INFO

2-3ヶ月ごとに開催予定

時間：約180分

場所：東京都看護協会

本コースは看護協会主催ではありませんので問い合わせは下記までお願いします

詳細はこちら



急変対応.NET
代表 万波 大悟 (MANAMI DAIGO)



info@code-blue.com